

はじめてみませんか？ 28000人のボランティア るもい市民ボランティア制度

平成16年1月に社会福祉協議会のボランティアセンターと留萌市が協同で、るもい市民ボランティア制度をスタートして1年半が経過しました。今月号では、るもい市民ボランティア制度の内容及活動状況について、お知らせします。

ボランティア制度の目的

この制度は、個人と個人の交流を大切に考え、ボランティア活動を「する人」と「ボランティアを求めらる人」に結び付け、市民のボランティアの機会を増やし、ボランティア活動を活発にすることで、市民がともに支えあい、思いやりのあるまちにすることを目指しています。

ボランティアの登録

ボランティアをする人はまずボランティア登録をします。自分がしたいボランティアの活動内容、日時、場所などの条件を登録します。(登録窓口は、ボランティアセンターと市役所市民サポートグループです。)現在、個人が63人、団体が19

コーディネーター

ボランティアセンターと市役所では、ボランティア登録した人とボランティアを受けたい人を条件に応じて、コーディネーター(結び付け)します。現在まで、33件のコーディネーターが行われ、15人の個人と13団体がボランティアを行っています。

ボランティア制度の約束ごと

この制度で行われるボランティア活動は無償です。ただし、交通費、食事代、材料費は依頼者(申込者)の実費負担となる場合があります。また、ボランティアをする人は必ず保険に入ります。登録者の保険料負担額は100円です。

ボランティア活動とは

ボランティア活動は、自発的に(自発性・主体性の原則)、他者や社会のために(社会性・連帯性

団体登録しています。

読み聞かせ・スポーツ指導・囲碁や将棋の相手など

ボランティアの依頼

ボランティアの依頼については、遠慮しないで窓口や電話で相談してください。

ボランティアを依頼する人は、ボランティア依頼申込をします。窓口は登録窓口と同じで、受けたらボランティアサービスの内容、日時、場所などの条件を記入して提出します。いままでは、ボランティアの依頼申し込みは44件31個人、13団体ありました。

除雪・掃除・草刈・高齢者の散髪・話し相手など

の原則)、金銭的な利益を第一に求めない(無給性・無償性の原則)活動のことです。

また、誰もが暮らしやすい豊かな社会をめざして、さまざまな人や団体とつながり、ネットワークをつくりながら、社会の課題の解決に取り組む(創造性・先駆性・開拓性)活動でもあります。

ボランティアをはじめよう

ボランティアは、誰にでもある自然な気持ちからはじまる活動です。そして、自分の興味や関心ごと、自分の時間や生活にあわせて参加できる活動です。どんな小さなきつかけでも、自分自身を大切にすることからボランティア活動が始まります。

ボランティア登録・申込みは

●留萌市ボランティアセンター(は1とふる1階)

☎43・0423

●市役所市民サポートグループ☎42・1902

こんなボランティア活動があります

お手伝い編

- 草刈 ●除雪 ●庭木の冬囲い
- 肩もみ ●爪切り ●犬の散歩
- ペット預かり ●散歩に同行
- ジョギング同行 ●車で送迎
- 買い物 ●洗濯 ●部屋掃除
- 裁縫 ●乳児、幼児、児童の世話
- 健康相談 ●介護、家事援助
- 通院の手伝い ●家具の修理
- 新聞、本の代読 ●日曜大工
- クリーニングの受け渡し
- 朝食夕食サービス など

特技・趣味編

- 民謡 ●茶道 ●書道 ●油絵
- 囲碁 ●将棋 ●家庭教師
- 楽器演奏 ●教育相談 ●司会
- イベント協力 ●料理 ●手話
- 着物の着付け ●ガーデニング
- スポーツ ●レクリエーション
- 旅行のアドバイス ●パソコン
- 手品等の指導 ●お菓子
- キャンプ ●伝承遊び など

その他

- 地域清掃 ●環境美化 ●講演
- 古切手の収集 ●自然保護
- 被災地救済 ●観光案内 など

このように、ボランティアと言っても、活動にはさまざまなものがあります。自分らしさを大切にしながら、あなたもボランティア活動の第一歩を踏み出して見ませんか。

あなたの喜ぶ顔が見たいから...



理容ボランティア活動を行っている
おお ざき のり こ
大 関 範 子 さん

もともと夫婦で理容店を経営していたので、理容の経験はありましたが、自分がボランティアで理容を行うことなど想像もしていませんでした。

以前、自分が体調を崩した年にも病に倒れ、大変だったことがありました。周りの方に色々とお世話になりながら、だんだんと元気を取り戻していった経験があります。

その経験から障害や高齢などで体が不自由になった方やご家族の苦勞と支えあい思いやる心の大切さが分かってきたように思います。

ボランティアを始めて約10年になります。人生の先輩である高齢者の方と接するのは、とても勉強になります。私を待っていてくれるあの笑顔が、私の元気の源です。